二日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵税 金十五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓增
□電話（平）七八六番
□振替口座東京二〇八・五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
發行編輯兼印刷人 森合英

日本でも婦人國民服の制定が論じられてゐるがただ實用といふだけでなく婦人らしい美を常に忘れないでほしい　（讀賣紙）

閼伽井嵐

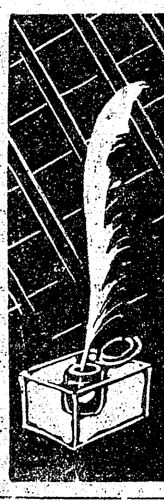
磐城魂探し出したい

山崎忠兵衛

磐女にゐた山口彌一郎先生は好く磐城の事を研究してゐた偉い先生でしたが結論として『磐城には指導精神が飲けてゐる』といつてをられる。成程我々はこの土地に生れこの土地に育つて來て居るのだが、さういはれて見ると何等明確な指導精神といふことが思ひ浮ばない。さて私は磐城魂とか△△魂とかなるとどうしても民族學に根を張つたものであり、修身の教科書にあるやうな抽象的概念的なものではなく我々の郷土に發達し我々に血のつながりを持つたものでなければならぬと思ふ。

そこで先第一に考へられる事は磐城魂の材料、材料といふと言葉は妙だが、祖先にかういふ人があつたといふやうな事實を探し求めて見る。それは天下に有名にならなくても我磐城にはすぐれた所のある人物もゐたに違ひないと思ふ。舊藩との關係が稀薄である事も磐城魂の發達を阻害してゐたでせうが民俗習慣年中行事の中に何か材料がないだらうか。

結論を申し上げれば、會津魂をまねるといふやうな事などはしたくない。磐城には磐城獨得の指導精神を得たい。我々はそれを探し出してゆきたい。我々の祖先、この土地の神社この土地の遺風等の中から探し出して磐城獨得の指導精神を得たい。そしてそれは狹い郷土愛の精神ばかりでなく大きな皇國愛の精神に一致すべきものでなくてはならぬ、封建的排他的のものであつてはならぬ。



民間療法と藥草

野崎順

六、郷土に普通なる藥用植物

藥草と申しても草ばかりでなく、藥草に供される所謂藥用植物の主なるもの其の中でも郷土で採集利用出來る普通なもの〻みに止める事とする。（順序は和名のいろは順）

（一）いはたばこ（漢藥名　苦苣苔）

（別名）岩菜又は瀧ジ苣等と稱し（藥效）煎用すれば胃腸病を醫し、胃病、肋膜炎等に效能がある。又味噌汁として風味がよい。（産地）深山の水濕ある岩壁上に着生しこの地方では川前溪谷等には普通に自生す。（性狀）苦苣苔科に屬する多年生草本で葉は煙草の嫩葉に似て一根から三四寸の一乃至二枚の葉を出す。七八月頃三寸程の花莖を抽出して紫色の花を開く。（採集）七八月頃採取して日蔭干として用ゆ。

（二）いちやくさう（和漢名　鹿蹄草）

（藥效）葉は止血、毒虫毒蛇の嚙創又脚氣等に用ひる。（産地）山林中に普通なり。（性狀）鹿蹄草科に屬する多年生草本で葉は隋圓形、質厚く、表面滑かで、緣邊に少しくぎざぎざがある。五六月頃葉間から七八寸の花莖を出し下向の白い花を開く。（採集）煎用するには夏の土用頃葉を摘みとり陽陰乾とする、止血等には生葉で用ひてよろしい。

（三）いかりさう（漢藥名　淫羊カク）

（藥效）根は强壯劑、陰萎、神經衰弱『清の始皇帝從臣をして山中に藥草を採らしむ、偶々一頭の牡羊多くの牝羊を從へよく淫するを見たり其の食するを見るにいかり草なり、從臣採つて帝に强精藥として献上すと』これより名附けて淫羊カクといふ。（産地）各地の山地殊山林中にあり平市附近にては鎌田山等に普通なり（性狀）めぎ科に屬する宿根草で草丈一尺位、葉は卵圓形で先尖り緣邊にぎざ〱ある二回三出の複葉である。六月頃莖の上端に淡色紫の錨狀の花を二三輪咲く（採集）十月頃地上の莖葉枯死せる後根を掘りとり陽蔭乾とする。

（四）いたどり（漢藥名　虎杖草）

本種は當地方で竹スカンポと稱し子供のよく生食する普通なるもの故産地性狀等は略す（藥效）根部を消渇、淋病、解熱、通徑等に用之。（採集）七八月頃の花期根を掘り取り陽乾とする。

（五）いのこづち（漢藥名　牛膝）

本種も小學校の教材にある普通なるものなり（藥效）地下莖は收レン劑利尿劑又産後の腹痛腰痛、リウマチス、通徑、淋病、乳房の腫物等に用之。（採集）秋季莖葉の枯死せる頃根を堀り取り陽乾とする

本種は漢方の利尿通徑藥として婦人藥に用ひられ奈良縣地方には多く栽培され、又支那より輸入せられてゐる。

彌榮村訪問記【四】

大連市　小野傳

開拓當時の彌榮村は紅槍會匪の占據する所で、當時の戸數二百は悉く無住家屋となり會匪頭目が間もなく歸順するに及び次第に人口を增し推定村面積四萬五千町歩に對し總人口約十萬一千余となり就中開拓團の人口は一三三五名を算する樣になる。

行政上彌榮村は分れて左の二十屯よりなつてゐる。即ち永豐鎭、青森、岩手、宮城、福島、長野、新潟、群馬栃木、秋田、北大營、羽陽、山形、大八虎力四方台、大梨樹溝、永平岡、太平溝、向陽山これで村長が村政を統べ其の下に助理員司計等があり、村公所（內地の村役場）はその昔紅槍會匪の本部倉庫なりしを改造したと云ふ二階造で再度ならず匪賊の來襲を受けたるも今日では驛隣りに守備隊の駐屯あつて昔の如きことはない由を承り安心したもの〻村公所で半月程前彌榮村の東方數里の山中でワナにより捕獲された六尺豐なる虎二頭の寫眞を見せられ肝を冷々させたのであつた。

開拓團經營のものに彌榮村共勵組合が設置され、その中に日用品購賣、販賣、信用、釀造、精米、精粉、搾油製材、煉瓦、石灰製造宿泊所等の部門があり自給自足はもとより余剩を外部に販賣して大變な利益をあげて居る

産業は高度の有畜農業で、農産物としては水稻麥類大豆、粟、高粱、馬鈴薯、蔬菜、小豆、煙草、大麻等で可耕地約一萬町歩放牧地一萬町歩と云はれてゐる。

牧畜方面では家畜の增産畜産加工も研究中で鶏の最多を第一とし豕、緬羊、牛、馬、兎山羊、密峰、等が主であるが、生憎筆者訪問の砌牛疫發生し具さに見學出來なかつたのは名殘り惜しくあつた。

詩

指輪

佐分利晃選

小林房子

（野茨）

白い光を放つ私の指輪
祖國にみ命を捧げし人の
忘れ形見
變りなき眞心に今日も光つてゐる
彼の人の魂がこの身についてゐると思ふと
力强くも慰められて
土に光るその手に
しつかり鍬の柄を握るこの嬉しき

異說赤穗浪士 (211)

桃川若燕
（畫）城木喬

切腹

大石內藏之助は言葉を繼ぎ、

『今日の切腹の御沙汰武士の冥加に協ひたる次第、面目此の上もございませぬ。たゞ此度の擧を伺れも內匠頭扶持を受けました同家中の者のみ、主人の鬱憤を散じたりとの一圖に出でました、一人も他人も加へませぬのに徒黨を致したとの御沙汰これのみ心外に存じまする』

『イヤそれはお上の思ひ違ひでござらう、ときに原氏は、何か遺言でもござるか』

『ハツ……』

と云つた原惣右衛門堀內傳右衛門に問はれるま〻に思案してゐたが、やがて筆をとるとサラ〱と認めた、

『かねてより君と母とに知らせんと人より急ぐ死出の山道』

これは一瞬の前に惣右衛門の母は自害してゐる。それ故斯樣な辭世を書いたもの、

『これが辭世とでも申しませうか……』

『イヤ美事でござる』

間喜兵衛は、

『草枕むすぶ假寢の夢さめて常世に歸る春の曙』

と記した、富森助右衛門は、

『先立ちし人もありけり今日の日を、終ひの旅路の思ひ出にして』

と云ふ辭世、潮田又之亟は、

『武士の道とばかりを一筋に思ひ立ちぬる死出の旅路に』

早水藤左衛門は

『地水火風、空のうちより出でし身のたどりて歸る元のすみかに』

片岡源吾右衛門、小野寺十內、堀部彌兵衛、磯貝十郎左衛門などもそれ〲辭世、又遺言をする。

やがて切腹の刻限その場所は大書院前の庭で大書院には荒木十左衛門と久永內記其の他の人が着座、暫らくして檢使が、

『大石內藏之助』

と聲を掛ける。

『ハッ』

と答へて大石は切腹の座に直り例の三寶に乘せた小脇差を手に取り、肩衣を刎ね、胸を寛げて小脇差を腹に當てると後に廻つた介錯人の安場一平が、

『エイ……』

聲を掛けると大石の首は前へ落ちる。これで有名な大石內藏之助も遂に命終る。

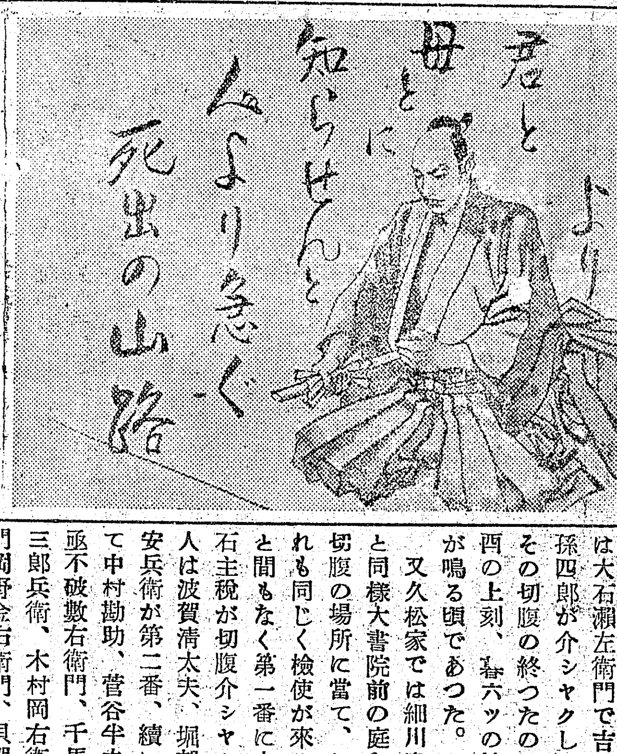
すると小姓が、

『大石內藏之助の切腹首尾よく相濟みましてございます』

と檢使に申し上げる

次は吉田忠左衛門、これは介錯人が雨森清太夫、三番目は原惣右衛門で介錯人は增田貞右衛門、四番目は片岡源吾右衛門で介錯人は二宮新右衛門、五番目は間瀨久太夫で介錯人は本庄喜助、六番目が小野寺十內で介錯人が横井彌右衛門、七番目は間喜兵衛で介錯人は栗屋平右衛門、八番目は磯貝十郎左衛門で介錯人は石田五右衛門、九番目は堀部安兵衛で介錯人は米良市右衛門、十番目が近松勘六で介錯人は横山國之進、十一番目は富森助右衛門で介錯人は氏家平九郎十二番目が潮田又之亟で介シャク人は一宮源四郎、十三番が早水藤左衛門で介シャク人は奥住惣右衛門赤垣源藏は十四人目で介シャク人が中村角太夫、奥田孫太夫がその次で藤崎長左衛門が介シャクする、矢田五郎左衛門は十六人目で竹田半太夫が介シャク、十七人目は大石瀨左衛門で吉田孫四郎が介シャクしたその切腹の終つたのが酉の上刻、暮六ツの鐘が鳴る頃であつた。

又久松家では細川家と同樣大書院前の庭を切腹の場所に當て、これも同じく檢使が來ると間もなく第一番に大石主稅が切腹介シャク人は波賀清太夫、堀部安兵衛が第二番、續いて中村勘助、菅谷半之亟不破數右衛門、千馬三郎兵衛、木村岡右衛門岡野金右衛門、貝賀彌左衛門、大高源吾の順で切腹介シャク人は主稅を斬つた波賀清太夫が千馬三郎兵衛の介シャクをした。


かねてより
君と
母とに
知らせんと
人より急ぐ
死出の山路

軍服と國民服
御注文並に既製品
高島屋の洋服
平市二丁目通 電話三六八番

御會食に
御商談に
割烹 幸樂
小名濱町幸樂通り
電話201番

內臟外科
整形外科
レントゲン科
松村醫院外科部（平市南町）
松村外科
醫學博士 松村亨

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
福島縣立代用精神病院
內務省指定
郡山腦病院
院長醫學博士 金磯五郎
郡山驛より約三丁 安積中學より五丁 郡山市外大槻村針生（電九二五）

大の削節
冷凍魚、鯨肉、ハム・ソーセーヂ
海苔、鰹節、其他食糧品
日本水産持約
ヒノマル食品店
平市三丁目 電話三二八番

姓名鑑定
疾病、職業、天運、家族運、男女緣
名前のみで一代の運命がわかる……
平市紺屋町 鵜沼孝昌

外科
內臟外科
肛門病科
皮膚黴毒科
泌尿科
生殖器科
【看護婦及見習看護婦募集】
平市鎌田町
白土醫院
電二七九

外科（內臟・整形）
內科
皮膚科
花柳病科
小名濱町仲町
石井醫院
電一八番

口腔衛生
口腔外科
矯正科
鈴木齒科醫院
小名濱町銀座通り

小兒科
內科
◎入院隨時◎
平市南町
醫學博士 酒井保
酒井醫院
（電五五番）

齒科一般
口腔外科
石城郡草野村驛前
坂本齒科醫院
坂本惣次郎

△入院隨時▽
エックス光線科
外科
內臟外科
院長 安齋徹
安齋醫院
平市田町 電五四七

眼科專門
眼鏡檢定
重田眼科醫院
平驛前

曳前の御知らせ
漁船家屋其他動産の移動
土木建築請負
鐵道船舶請負
仲仕請負
北村芳藏
小名濱町榮町築港地內
御希望の方は一應御相談下さい

ガソリン
石油
キカイ油
輕油
測量器
製圖器
マス
ハカリ
モノサシ
平石油共同配給所
關內正一商店
平市・電話16

乘合 貸切 馬車御案內
乘合區間平、夏井間、平發午前七時 午前九時、午後一時、午後四時の四回
貸切馬車
は新体制下に於ける乘り心地よき快適な仕立
運行は朝の六時から夜間は十時まで
料金市內七十五錢、市外四キロ二圓五十錢一キロを增す每に一圓增
大河原トラック部
同 乘合○車部
平市大町 電五七六

文選女 見習 募集
高卒程度
年齡十五、六才
【希望者ハ本人來社アレ】
磐城每日新聞社

大黑屋 [illegible]

今年の夏帽子

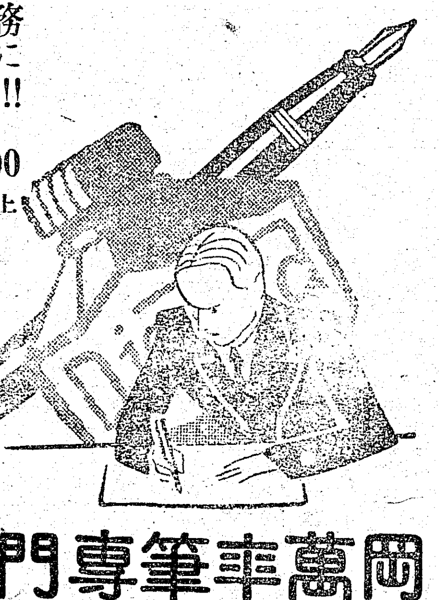
カンカン帽を見て夏が來たな……と思ふ、カンカン帽はなんと云つても夏帽の王者である。今年はカンカンも壹圓位から四圓位で

四ビシは（荒目の物）內地産だから相當まに合ふ、支那ムギは支那から入らないから少ない、中年の方には支那ムギも上品でよい、そして割合に四ビシより赤くならない

パナマも紙製で二圓位から六、七圓位まで本パナマ代用のヤシのセンイから出來たマーヤル・リントパナマは洗濯もきくし本パナマと總ての點で見おとりがない、六圓代から最高二十圓までで

最近出初めたヤング帽は色々な色と編方があり輕快で若向きには大變よろしい、値段も一圓代から三圓位で紙製のパナマと同じく紙を材料にして其の上にセルロイド加工をしてあるから少々の雨には耐るパナマもヤングも雨にあたつた時良く乾かしブラシでホコリを落し常に箱に入れて置く事が必要一寸した注意が一年でダメの物が二年使用出來る、此の手入は主婦の役目、洗濯の出來ない紙のパナマヤングは消ゴムのヤワラかい物でおとすと洗濯した位にキレイになる一寸したよごれは消ゴムで充分其費用一錢位

萬年筆は專門店へ
事務に!!!
進學に!!!
御祝に!!!
㊣2·00以上



岡萬年筆專門店
平市中央通り

御挨拶

謹啓時下初夏之候各位愈御清穆の段奉賀候陳者不肖等從來各個人營業中は格別の御愛顧を賜り奉深謝候倍時局下に於ける斯業界の新体制確立の要請に即應し省縣令に依る計畫出荷の實施に備へ低物價政策に協力配給の圓滑適正を期する爲從來の移出業者及び地方卸業連携統合して移出共販の整備に萬全を期し多年經驗ある人的總和に依り今般

有限會社小名濱鮮魚介移出共販所

を組織し、個人營業權の一切を當會社に於て繼承一元的に取扱を致す事と相成候間今後共一層の御援助と御引立を賜度奉懇願候追而從來の各店に對する御註文は今後於當會社一切御取扱可申候間御諒承被下度候

尚各商店より一々御挨拶申上可き等の處乍略儀連名を以て御挨拶旁々貴意を得度如斯に御座候　敬具

昭和十六年五月

福島縣石城郡小名濱町字町五番地
有限會社小名濱鮮魚介移出共販所
電話（小名濱局）三番

代表取締役
常務取締役
〃
〃
取締役
〃
〃
監査役

小野豐次
馬上一
馬上庄次
上喜一
運賀熊次郎
立花新次郎
櫻井吉五郎
運賀金次郎
鈴木七郎

推進誓ひ

嚴肅裡に結成式終了

青壯年隊意氣軒昂

平市青壯年隊結成式は興亞奉公日に當る昨一日午前九時二十分から縣社子鍬倉神社々前に於て嚴肅裡に執行、鄕土再建に向つて意氣軒昂として發足した

この日朝來から曇り勝だつたが市内三十四分隊員が續々會場の平商舊校庭に參集、總勢九百五十余名、定刻八時四十分各隊横隊に整列し同五十分宮城遙拜、出征軍人の武運長久祈願、戰歿勇士に感謝の祈念し、青沼隊長分隊毎に閲兵、終つて隊員一同縣社境内へ移動整列、豫定を早め九時十分結成式に移る、來賓は縣會議員、市會議員各區內會長等六十余名臨席

内木副隊長擧式の辭を述べ、參加隊員一同君ケ代奉唱、祭式執行し、次いで青沼市長『高度國防國家建設の强力なる推進力たるべしと青壯年の蹶起を促し』て式辭を述べ、宣誓文を朗讀、

宣誓

吾等ハ萬民翼贊ノ本旨ニ則リソノ總力ヲ擧ゲテ高度國防國家建設ノ爲メ郷土ノ再建ニ挺身シ以テ大政翼贊ノ實ヲ擧ゲンコトヲ期ス

來賓代表して野崎市會議長の祝辭があり、市井副隊長の發聲で推進の誓唱和

推進ノ誓

一、我等ハ皇國ニ生キ皇國ニ死ス
一、我等ハ正シク自ラヲ律シ進ンデ統制ニ服ス
一、我等ハ道義ヲ重ンジ科學ヲ愛ス
一、我等ハ勤勞ヲ尊ビ職域ニ奉公ス
一、我等ハ必勝ノ信念ヲ堅持シ新体制ノ確立ニ邁進ス

青沼隊長の發聲で萬歳三唱、市井副隊長閉式の辭を述べ九時四十分盛況裡に解散した

翼贊會

役員整ふ

大政翼贊會市町村役員中郡山市他二十六町村は未發表であつたが、今回全部縣支部の推薦通り近衛總裁から指名があつた。是で縣下郡市町村支部全役員の任命は終了を見た譯である。今回發表の分中郡關係のものは次の通りである

石城郡

◇川前村　△常務委員佐久間元孝（農業技術員）永山條介（村議）河西秀治（訓導）大平七藏（軍人分會長）大川原喜一郎（陸軍伍長）△顧問永山德一（銀行頭取）永山龜太郎（元局長）矢內伴藏（理事長）△參與渡邊三平（國民學校長）箱崎秀事（同）

凍霜害が禍し

春繭の出廻り四萬貫內外か

速効肥料で夏秋蠶增

縣下の桑園を襲うた未曾有の霜害に對し、縣當局は應急策として速効肥料智利硝石を配布することになつたが石城地方への配給數量は六千七百二十貫でこれを被害五割以上の反別に割當てると一反歩一貫四五百匁に當り、必要量一反歩四貫匁に對し僅かに三分の一に過ぎないが、引續き今後も相當量の配給を目論まれてゐるから今年度の夏秋蠶から明年の春蠶にかけて增收確實と見られてゐる

尙蠶業取締支所の調査に依る春繭の凍霜害收繭減は昨年同期の實收高八萬貫に對する三割、即ち二萬四千貫減收し、これに掃立當時の減收豫想數を加へると全般的には約五割減となり春蠶の收繭出廻り數量は僅かに四萬貫程度に止る模樣である

然し全縣的に見ると濱通りは被害最も尠ない右について平蠶業取締所長は語る

調査する處に依ると石城地方の春蠶は五割減となり四萬貫內外に止るでせう、然し速効肥料の配給で夏秋蠶は相當增加の見込みです、技術的には一反歩四貫の肥料を與へると理想なのですが今回の一貫四五百匁でも可成り効果は擧げられます明年の春蠶に期待かけて進むより目下の處方法ありません

增産に一役

農業經驗の鑛婦動員

炭礦の田植援護

常磐炭礦の歸農增産部隊は平國民職業指導所の斡旋で宮城縣下へ送り込むべく着々準備を進めてゐた處『霜害のため養蠶の勞力が減じこの方面の勞働力を農繁期の勞力へ振り向ける』と拒つて來たので炭礦勞働者の歸農增援を中止し石炭の增産に專念することになつた

然し管内の農繁期應援には直接炭礦の生産に影響の無い國防婦人會など動員すべく石城郡内各農村の必要勞力調査中で町村當局と密接な連絡を圖り農業に經驗ある炭礦地の婦人連を繰り出す準備を進めてゐる

能率增進策に

共同作業增加

郡農會も指導奬勵

大野村藥王寺の三實行組合廿一戸聯合し農繁期に田植と炊事を共同で行ふことに決定したこれで石城郡内の共同作業は渡邊敎化村の十三實行組合を初め飯野村谷川瀨實行組合、平鯨岡實行組合、大野村藥王寺組合の一市三ケ村が實施することになり相互援助に依つて勞力不足を補ふ共同作業が漸次增加の傾向を示してゐるので郡農會も非常に喜び能率增進のため指導奬勵に努めることになつた

時局認識獻金箱

藝妓衆が半年毎に開く

平藝妓屋組合では百余名の大小藝妓に時局の認識を深め國防の一端を負はしめようと昨一日の興亞奉公日に、組合員二十軒の藝妓部屋へそれ〴〵獻金貯金箱を備へつけた

この獻金箱には、映畵を見るとき『戰地の兵隊さんの爲に』と自分達の遊び賃を入れる、煙草を買ふときおつり錢を――と云ふ風に、何事につけても獻金に心を寄せ、これを半年毎に開いて獻金する

前線慰問通信

☆★☆☆★☆【9】☆★☆★☆★

立派な護岸に驚く

テロも影無し

漢口臨昌ホテル

縣議　木村守江氏

五月九日

午前五時卅分未明頃から船の機關場のゴロ〳〵する音で目を醒す。六時近くには既に走り出した船は漢口へ〳〵と進んでゐる、朝から曇天である。時に不氣味な雲が空いぱいに漲つてゐる。昨日迄の暑さがどこへ行つたかと思はるゝ位に寒い、一時半程で鐵鑛の寶庫大冶に來る、日本から赴任したらしい四五人の夫婦づれの人達が下船する爲めに川の眞中に「エンヂン」を止めれば「ボッボン」船が船舷に横づけになる、約五分位で船は走出す、揚子江に面せるこの地は石灰ヨウといふので熔鑛爐や船積場が並んでゐる、この中に日本人向きの社宅や支那人街がある、山の中腹に數本の煙突が見えるがこれは戰前支那で製鍊した遺跡だといふ。この地から約五里位南方山中に有名な大冶があり山全体が鐵鑛とのことにて鑛石が河岸に支那に見る城壁の如く積れて「クーリー」によつて盛んに船に積れてゐる、これも程なく立派な鐵材となるのかと思ふと鐵不足の時代に嬉しく感ぜられる

この地を石灰ヨウといふのは、沿岸一帶に石灰石を露出せる山岳地であるからである、この山を越せば鐵山の大冶にて石炭も産出するとかいつてゐるから本當の寶の山である、支那軍がこゝを放棄して逃げる時には全部機械を破壞して行つた由にてこれを修繕して使用に耐へる迄には新品を購入するより多額の金を要するとのことにて此の地にての製鍊は一寸間に合はぬらしい、困つたものである、船の中には支那の小供と日本の子供とが乘り込んで來た、何れも八才だといふ。何れも可愛い女子供であるが日本の子供は何となく「ドンヨリ」とした感じがするが弟と騷ぎ廻つて船中をかけ廻つたり「テーブル」の上でも椅子の上でもピョン〳〵飛んで歩く、大きな聲で騷ぎお轉婆振りを發揮してゐる、支那の娘は極めて馴れ易くだれでもかまはず極めて能辯に何かを喋る、食事の時でも來て何でも貰つて食ふ、然し駈け廻るやうなことは滅多にせぬ、然し小鳥のさへづる如くよく喋る驚いたのには兵隊のくれた卷煙草を極めて自然に「ボカボカ」喫つて鼻の穴から煙を出して別に變な顏もしないこれには一同開いた口が塞がらなかつた、支那は全く女尊男卑で女は平氣で立つてあれば男は妻君の今迄寢てゐた蒲團や着物をたゝんで漢口に近づいたので準備を進めてゐる、決して間違ても女は手を出さない、男は妻君の使役である、尙ほ遡行すれば蘇東坡の文で有名な赤壁がある、この地は今は黄州と言つて揚子江の北岸にある赤い壁でも塗つたやうな丘をなしてゐる地に洋館らしい建物が並んでゐる、支那には赤壁と言ふ所が五ケ所あつて何れが本當の蘇東坡赤へキか判然しないさうであるがこの赤へキと漢口上流九〇浬の地にある赤へキとが最も有名なさうである

船は午後三時半頃漢口に着く、最も目につくのは幾里となく揚子江岸の護岸工事のされてをることである、こゝまで隨分長い間何處に護岸工事など見たくとも見られなかつたのが、こゝに來て見れば赤煉瓦で煉瓦かべの如く約十里位の間築かれてある、話によればこれは現在の漢口市長の岳父張之洞が造つたものだとのことである。

この地は占領前は日本人建物は全部打ち壞されてゐたとのことであるが今は全く復興なり、而かも治安維持も完成して上海等に見る「テロ」などは殆んどないとのことである、非常に繁華な市街である、上陸直ちに兵站部總司令部に至り連絡を取る、勿來町出身だと言ふ菅野准尉がゐて世話してくれる、兵站宿舍福昌館に入る

おちの良い
マルミ石鹸
平市林木町二
製造元マルミ本舗

名刀"勝光"

國寶盜難から世に出る

平市水道課長眞野眞作氏は名も無い刀劍と赤サビにまかせ放置してゐた『備前長船勝光』が今回日光東照宮の寶庫から盜まれた國寶の勝光と同一作品であることが判り大喜びで直ちに研師へかけることになつた

刀身も同じ一尺七寸五分、細身の脇差しで當の眞野課長『研がずに置いて良かつた、ドキ〳〵したものだと東照宮からの盜品と思はれてはひどいからね』と嬉しそうだ

赤いわしの『勝光』も漸やく世に出ることになつた

小名濱海產物

卸商組總會

小名濱海產物卸商業組合では五月三十日午前十時事務所樓上に定時總會を開き十五年度決算報告、十六年借入金最高限度に關する件、理事改選の件を協議したが左の如く選任された

金成利惣太、田中權次郎、小島源七、比佐昇、管原勳（以上再）馬上庄次、堀越新平（以上新）で理事一名が增員された

農公に開く

養蜂講習

廿七日に變更

縣主催の養蜂講習會は九日開く豫定を二十七日午後一時から郡農會事務所に開講することに變更。縣から二宮主事が來講する

關原家へ深謝

本社の誤報謹んで訂正

一日附本紙二面『關原家へ勳章傳達●故人の勳功偲ぶ』と題し平市一丁目關原新一郎氏御子息伍長關原司君を恰も戰死の如く報導せしは本社の誤報にして、關原伍長は目下北支〇〇方面への第一線にあつて元氣旺盛に參戰しつゝあり、今回父親新一郎氏に對する勳章の傳達は同君の戰功に依る叙勳を傳へたものであつて、本社の誤報に依つて關原家に御迷惑を及ぼし世間をお騷がせした點を深謝す

磐城每日新社聞

軟式野球

讀賣社平豫選

老天狗・平製作勝つ

同業讀賣新聞主催の縣下軟式野球大會平豫選會は一日午前八時半から平商グランドに擧行參加十二チームで盛況を極めた、結果次の如く『老天狗・平製作』の二チーム優勝、決勝戰を行なはず石城豫選に出場する

◇一回戰◇

太陽5A…3荒鷲
平郵便16…4市役所
鴻久3A…1田邊
老天狗15…7吉伴

◇二回戰◇

平發電2…1太陽
平製作12…5平郵
老天狗16…0日電
鐵道14…0鴻久

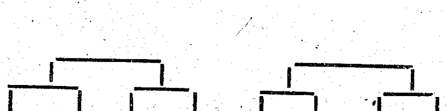
◇三回戰◇

平製作8…3平電
老天狗2…1鐵道

石城豫選

八日平商球場

別項、軟式野球石城郡豫選は八日午前八時半から平商球場で擧行することに決定、參加チームの組合せ次の如し



粕漬で賣出す

魚介類加工品に新機軸

小名濱町では從來海產物加工は鰮、鰹に限られ、その他の鮮魚介を加工品として市場に送出す事を意に介しなかつたが、今回小名濱町古港小野忠春氏は統制時代に飛躍的打開策として魚介の粕漬を大々的に小名濱名物たらしむべく第一着手として酒粕伊丹美三十樽を購入し〃フグ、鰮、アカヂ、サバ、タラ〃等の安價にして多量な魚類を製造する事にし、その準備中であるが、この成行きに對しては一般業者から注視されてゐる

統制外の關係で

蠶豆生產激增

廿日頃出廻り最盛か

石城郡下の蠶豆出荷協議會は今二日午前十時から平市の郡農會事務所に開いた

蠶豆は野菜として取扱ひを受け、出荷制限も公定價格も無い關係から前年千五百俵の出荷に對し本年は一躍八千俵に激增するに至つた爲これが出荷には尠なからず頭を痛めてゐる

出廻りは早場のもので、十日頃から積出し廿日頃最盛期と見られ相場は最高八圓から最低六圓五十錢止りの見當、各地共豫想以上の豐作に農家はホク〳〵ものである

興亞奉公日

四倉町の催し

四倉町では昨一日の興亞奉公日に午前九時から傷病將士の家族を慰問午後一時よりは役場議事堂に遺家族の參集を求め懇談會を開いた

四倉國民生

一齊に美化作業

四倉國民學校では今二日午前五時のサイレンを合圖に初等科三學年生以上の兒童を各町別に集合させ受持先生指揮の下に町内を分擔して海岸、社寺、道路等の美化作業をなした

貯蓄報國

平庶民金庫街頭へ進出

國民の貯蓄目標額が一躍百卅五億圓に增强されたので平庶民金庫でも報國貯蓄運動に乘出し『翼贊貯金』として貯蓄組合設置を初め月掛定期貯金、据置貯金等全市民へ呼びかけ募集を開始した

庶民金庫の貯金で利益する點は貯蓄組合に依る場合一口五千圓まで利子所得に對する分類所得税が免除される、個人の定期豫金は同樣三千圓まで税金免除

月掛貯金の場合は係員が毎月集金に當り居ながらにして貯金が出來利息の如きも定期年三分四厘と云ふ好條件に置かれてゐる

簡保成果

報告方督促

去る四月廿日から五月十日まで行なはれた簡易保險新加入運動の成果につき、隣組から未だ報告無い處がある爲至急回答方各區內會へ通牒した

平地區組合

近く事務所移轉

平商業組合事務所は土橋の鹽屋賣店へ移轉することに成つてゐたが同賣店が昨一日本店へ移轉を完了したので組合事務所も上旬中に引越すことになつた

鈴木兵長

四日無言の凱旋

四倉町仲町カネモさん二男兵長鈴木計一君（二六）は去る三月三十日江西省〇〇激戰に於て名譽の戰死遂げたが四日午後三時三十四分四倉驛着の列車で懷かしの故郷へ無言の凱旋する

尙七日午後一時より同町國民學校々庭にて町葬を執行する

体力検定

七月十五日から

未屆は處罰

平市今年度の体力検定は七月十五日から廿五日まで市公會堂で執行することに決定した

今年度の受驗資格者は十五才から十九才までの男子で故無く屆出でを怠り或ひは受驗に應じない者は体力管理法に依つて處罰されるから未だ屆出での無い者は至急市役所へ屆られたいと

四倉青壯年

今日準備會開催

四倉町青壯年隊の結成準備の打合せ會を今二日午後七時より役場內に準備委員會を開き協議した

歸還のお禮

銃後會十圓寄附

平市新川町一八大沼孝治君は歸還のお禮として二日市銃後會へ十圓寄附した

港灣協會

松波博士

江名、小名港視察

港灣協會副會長法學博士松波仁一郎氏は小名濱、江名港灣視察の爲め昨一日午後一時半泉驛下車直ちに江名町へ車を驅り江名、中の作港を視察し小名濱一泊今二日午前中小名濱商港を視察する

小名濱の不良少年

徹底的に調査

小名濱警部補派出所では過般來不良少年を檢擧して嚴重に取調べを進めてゐるが内四名を檢事局に書類を廻附した、尙ほ芋蔓的に檢擧の取調べを續けてゐるが連類少年の數は多數に上り檢察當局を茫然自失せしめてゐるが、これら不良少年學童は常日懷中に短刀を藏して良家の子女を脅迫金品を卷上げ又は窃盜を働き卷煙草を喫しカフエー料理店にも出入りすると云ふ徹底した不良振りでこの際徹底的に調査不良兒を一掃する方針である

小名の自殺

神經衰弱が原因

小名濱町字定西小野かん（四二）は五月三十日午前九時頃同町上町某の梁に細帶で縊死を遂げてゐるのを發見、屆出により三浦警部補が檢死したが原因は强度の神經衰弱

初節句節

隣組基金に寄附

小名濱町汐留町內會第二班佐川藤三郎氏は初節句の虛禮を廢し金拾圓を隣組基金として寄附した

野薊

第二回句會

期日、六月五日午後五時半より
場所、田町さかき家
會費　三十錢
兼題、卯の花腐し、羽抜鳥、新樹（通して五句、來會歡迎）
【秀逸には賞品呈す】

巡査異動

卅一日づけで巡査及び巡査部長の異動が發表になつた、平署の關係は次の通りである

△巡査部長
平署へ　栗林幸吉（須賀川）

△巡査
保安課へ　富井仁彌（平）
平署へ　根岸保（原町）
猪苗代へ　梅林寺泰臣（平）

女教員會

平市出席者決る

七、八兩日福島市縣教育會館に開く第九回縣下女教員大會に平市内の國民學校から左記六訓導が出席する

△第二國民學校　內田ハツ、菅波ミナベ
△平第三國民學校　三森消子、渡邊保
△第四國民學校、市川政子

病苦から

井戸で自殺

四倉町本町三番地居住磐城セメント職工安田茂嘉さんの實父登茂吉（六四）が一日未明頃コツソリ起き出したまゝ歸宅せぬため家中で安じてゐた處、同家の裏井戸に入つて自殺を遂げてゐるのを五時頃水吸みに行つた娘のチヨさん（二三）が發見、大騷ぎとなり引上げた

同人は永らく病床にあつたので病苦から覺悟の自殺を遂げたものらしい

小名の火事

長屋半燒

原因煙突飛火か

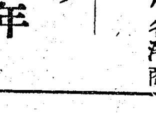
今二日午前一時頃小名濱町字竹町二三米澤文藏所有六戸建長屋の中央に住居する理髮機具行商人菊田春吉宅二階から發火、同家一部分半燒して同一時半頃鎭火した

原因は煙突の飛火らしく取調べを進めてゐる、損害約三百圓

酌婦さん

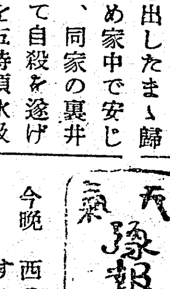
一日奉公作業

四倉町第三種料理屋組合では昨一日の興亞奉公日に組合長椎名忠太郎氏指導の元に町內に住む酌婦約卅名が警察署內の美化作業を行ひ文字通り一日奉公した



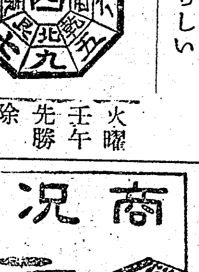
舊五月　九日
新六月　三日
火曜　壬午　先勝　除　室宿

▲一白　流るゝ汗も千金の寶玉となる努力發展の日
▲二黑　家道盛とて油斷すな榮華は一朝の夢と化す
▲三碧　走るに過ぎて躓く事あり大怪我の基となる
▲四綠　鬱積したる感情の爆發せんとする日和合吉
▲五黃　鋒鈍りて敗を取るに至る元氣を奮ひ安全
▲六白　虛勢を張らず實力本位にて進めば失敗無し
▲七赤　不運を喞たず現狀に滿足して援らぬがよし
▲八白　有利と確認せし事も失費多く思案に餘る日
▲九紫　運氣旺盛にして希望達成の日但し盜難注意



今晚　西の風晴天です
明日　南西の風後南東の風曇り勝ちの天氣です

（六月三日）
滿潮　前九、〇〇　後一〇、〇〇
干潮　前三、三五　後三、五〇



（二日）

【野菜】	高	安
筍	一三〇	
大根	三八	三五
玉菜	一七	一〇
ホレン草	五〇	四五
葉玉葱	三〇	
ニラ	一一〇	
【鮮魚】		
サバ		一四、〇
アジ		二〇、〇
鯛		九〇、〇
イワシ		五、八
ヤリイカ		二二、〇

平市慶弔錄

【出生】平市大字上平窪字眞以井三十三番地佐藤淸治三女淸子さん、平市字番匠町四番地三浦忠五郎五女弘子さん

【死亡】平市一丁目四番地松本とみ子（四〇）さん、平市字立町九番地大塚則次（二）さん

鄉土史講演

期日　四日午后正七時
場所　福島無盡樓上

『我鄉土觀』……鈴木光四郎氏

〔入場無料、一般聽講歡迎〕

鈴木氏は平市出身、磐城高女の教諭で磐城の鄉土史に造詣深き篤學の研究家である、『我鄉土觀』に於て必ずや磐城の指導精神に暗示を與へられることを確信する

主催　磐城文化協會

近火御見舞御禮

昨夜近火の際は早速御驅け付被下御蔭を以て類燒を免れ候事は偏に各位の御盡力の賜と感佩罷在候實は拜趨の上御禮申上るは本意に候へ共取り込み居候爲乍略儀紙上にて御禮の御挨拶申上候

昭和十六年六月二日

ギスケ號
柳內吉助
石城郡小名濱港
自宅電話二〇番